科目名	授業形態	担当教員名			
電気電子工学実験	実験	金高 雅輝			
時間数(単位数)	授業回数	年次	開講時期		
45 時間 (1 単位)	23 回	2 年次	前期		

授業の目的・概要

講義で習得した知識を実験により直接体験することによって確実に身につける。

実験技術を習得するとともにこれを習熟する。 実験項目は、実験A:テスタ及びオシロスコープの取扱い、実験B:電球の特性試験、実験C:共振回路、実験D: トランジスタの共通エミッタ接続における静特性、実験E:電源整流回路、 実験F:サイリスタの位相制御特性

授業の到達目標

基本的な事項の理解と関連実験技術の習得を目標とする。

授業	計画									
口	内容									
1	実験ガイダ	゛ンス		16	実験(ご・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作り	式
2	実験説明			17	実験(・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作	式
3	実験説明			18	実験(・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作	式
4	実験A・実際	験B・レ	ポート準備と作成	19	実験(・実験D	・実験E・	実験F・	レポート準備と作	式
5	実験A・実際	険B・レ	ポート準備と作成	20	実験(・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作り	式
6	6 実験A・実験B・レポート準備と作成			21	実験(・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作	式
7	実験A・実際	験B・レ	ポート準備と作成	22	実験(・実験D	・実験E・	実験F・	レポート準備と作	式
8	実験A・実験	険B・レ	ポート準備と作成	23	実験(ご・実験D	実験E・	実験F・	レポート準備と作り	式
9	実験A・実験B・レポート準備と作成									
10	0 演習・レポート作成指導									
11	演習・レポート作成指導									
12	実験C・実際	 険 D・実	験E・実験F・レポート準備と作成							
13	実験C・実験)	験E・実験F・レポート準備と作成							
14	実験C・実際)	験E・実験F・レポート準備と作成							
15	15 実験C・実験D・実験E・実験F・レポート準備と作成									
成績	の評価法と	基準								
	種別 "	割合	評価基準・その他備考							
	期試験									
レポート 100% 提出期日厳守。レポートの内容を評価				平価で	する。					
	テスト									
	平常点									
	その他									
		·項目後	に課したレポートと受講態度を加明	未して	て評価	する。				
教科					1-	tt + 1/2 / i / i	± + b			
書名	1					著者・編集	表 有名		出版社名	
					-					
自	由記載									
	文献									

著者・編集者名

出版社名

自由記載

備考

書名

助手 波多野 樹・安田 大輝・石原 佑真・大塚 直喜 実験説明は教室にて行うが、実験では各班に分かれて各実験室で実施する。